

## 本郷地域の義務教育学校設立第2回保護者説明会 質問と回答について

**Q1** 小中一貫により前期課程と後期課程の授業の入れ替えがあった場合、例えば中学校受験や転校を考えているときは対応できるのか、またその子の履歴はどうなるのか。以前の説明会で6年生の卒業の際にセレモニー等を考えているという答えがあったが、それについてどうなるのか詳しく知りたい。

A. 義務教育学校の教育課程の特例ということで学習内容の入替が可能ですが、基本的に前期課程は小学校の部分となります。例えば3年生と4年生の段階で授業の入替があったとしても、結果的に普通の小学校と同じ学びができますので、前期課程修了段階では学習内容は網羅されています。転校する場合は、文科省からの指導で転校先にはこのような学習をした、という情報を引き継ぐことで対応することになっています。卒業式的なセレモニーは学校で知恵を出し合い工夫しながらやっていくこととなります。学校の選択となるのでいろいろな持ち方が考えられます。小学校の卒業証書は出せませんが、勉強が終了したことで修了証書のようなものを学校で出すことができます。学校と保護者で話し合い、より良いものを作っていくことを目指したいと思います。

**Q2** 中学生と小学生が一緒に行われる行事等はあるか。

A. 具体的な教育活動の中で異学年同士と一緒に活動を行うことがあるかどうかということについて回答いたします。例えば清掃を縦割りで行ったり、9年生と5年生が一緒に行事を企画したりということも考えられます。知恵を出し合い、工夫の仕方によっていろいろやるのが可能となります。上の学年が下の学年を遊ばせたり指導したりすることもできます。コミュニティースクールの先進的事例には義務教育学校ではないものの、小学生と中学生を組み合わせる活動する取組みをしている事例が見られます。学校が保護者の皆様から意見をいただいてよりよい活動を作っていくことを目指したいと思います。

**Q3** アンケートの質問の回答はいつHPにアップされるか。

A. 令和5年1月23日を予定しています。

**Q4** 現在、小学校4年生と5年生で宿泊学習、6年生と中学校3年生で修学旅行を行っているが、義務教育学校になり学年に区切りがなくなれば、いままで行われていた行事は今後も同じように実施されるのか。子どもたちの楽しみでもあるし、親としても成長を見ることもできる。今後の見通しが知りたい。

A. 学校行事については学校と保護者が知恵を出し合い作るものと考えております。いままでどおりの取り組みもありますし、新しいものを作っていくこともできます。